

# 夢をかたちに

令和8年度  
出水商業高等学校  
進路指導部  
進路便り  
No.3 2026.6.16

## 進路実現に近道はなし！！

皆さんは、毎年12月1日になると、自由国民社より『新語・流行語大賞』というものが発表されていることをご存知でしょうか。今から4年前の2022年の『新語・流行語大賞』に選ばれた言葉は「タイパ」という言葉でした。「タイパ」とはタイムパフォーマンス（Time Performance）の略語であり、日本語では時間的費用対効果と訳されます。つまり、かけた時間に対してどれだけの効果や満足が得られたかを評価する考え方です。短い時間で高い成果や満足度が得られれば「タイパが良い」、逆に時間をかけても満足度が低ければ「タイパが悪い」と表現されます。

同じく毎年12月に発表されるものといえば、ノーベル賞があります。ノーベル賞はダイナマイトを開発したことで知られるアルフレッド・ノーベルの遺言に基づき創設された国際的に権威のある賞です。昨年、ノーベル化学賞を受賞された京都大学の北川進教授の座右の銘は「無用の用」という言葉です。一見すると役に立たないように思えることが、後になって大きな価値を生み出すという考え方です。

さて、高校生の皆さんは今、自分の進路実現に向けて日々努力を重ねていることと思います。進学や就職に備える中で、「この勉強は本当に役に立つのだろうか」「もっと効率の良い方法があるのではないか」と考えることもあるでしょう。確かに、限られた時間を有効に活用するという意味で、「タイパ」の考え方は重要です。しかし、進路実現に必要なのは効率だけではありません。すぐには成果が見えない学習や経験であっても、後になって大きな力となることがあります。苦手科目に粘り強く取り組んだ経験、部活動で仲間と励まし合いながら努力した経験、読書や探究活動を通して視野を広げた経験などは、まさに「無用の用」と言えるでしょう。

話を少し元に戻すと、2025年の新語・流行語大賞には、日本初の女性首相である高市早苗氏の「働いて働いて働いて働いてまいります」という言葉がノミネートされ、大きな話題となりました。この言葉に対する評価はさまざまですが、目標に向かってひたむきに努力を続ける姿勢の大切さを私たちに考えさせてくれます。進路実現に王道はあっても、近道はありません。効率を考えながら学習することは大切ですが、それ以上に大切なのは、自分が納得できるまで努力を続けることです。

高校3年生の皆さんは、これから進路選択の大切な時期を迎えます。皆さんにはぜひ、「人生史上最高の努力」をしてほしいと思います。その努力は、たとえ結果が思い通りでなかったとしても、必ず皆さん自身の成長につながります。そして、その経験こそが、これからの長い人生を支える大きな財産となるはずですよ。

また、高校1・2年生の皆さんにも伝えたいことがあります。進路のことはまだ先の話だと思っている人もいるかもしれませんが、しかし、進路実現に向けた準備は、すでに始まっています。毎日の授業を大切にすること、読書や探究活動を通して興味・関心を広げること、部活動や学校行事に真剣に取り組むこと、そのすべてが将来の自分をつくる大切な経験です。

「まだ時間がある」と考える人と、「今できることを始めよう」と考える人では、1年後、2年後に大きな差が生まれます。受験勉強だけが努力ではありません。将来どのような生き方をしたいのかを考え、自分の可能性を広げるために挑戦を続けることも大切な努力です。

高校1・2年生の皆さんも、ぜひ今この瞬間から、自分自身の成長のために行動を始めてください。そして高校生活を振り返ったとき、「あの時、自分は人生史上最高の努力をした」と胸を張って言えるような日々を過ごしてほしいと思います。

## 進路に関する日程（3年生）

7月 1日（水）求人票受付開始（7月8日 第1回求人票公開 / 7月14日 第2回求人票公開）

7月16日（木）校内選考前進路希望アンケート提出期限

7月17日（金）～7月31日（金）三者面談 … なぜその志望先なのかを明確にしよう。

8月 4日（火）～8月 5日（水）校内選考会①・② … 面接練習を繰り返し行い、万全の状態です。

8月 5日（水）～8月 7日（金）履歴書PC指導 … 事前に履歴書の下書きをして、臨もう。

8月18日（火）～8月21日（金）校内選考会③～⑥ … 面接練習を繰り返し行い、万全の状態です。

## 教育実習生の先輩が語る「私の進路実現」

先月まで本校で教育実習を行っていた2人の先輩方に、高校時代の進路活動や現在の大学生活についてインタビューを行いました。年齢も近く、つい最近まで皆さんと同じように悩んでいた先輩たちの言葉には、進路実現のためのヒントがたくさん詰まっています。ぜひ参考にして、今日からの行動に活かしてください。

### Q1：進路について考え始めた時期はいつですか？

- ・高校3年生の夏に入ってから本格的に考え始めました。私の周りの同級生たちも、だいたいこの時期に進路を具体的に決め始める人が多かったです。
- ・初めて意識したのは高校2年生の時の進路希望調査でした。ただ、その頃は卒業したら「就職しよう」と考えていました。そこから進学へ進路を大きく切り替えたのは、高校3年生の今の時期（6月頃）でした。

### Q2：今の進路（大学・専門学校）を選んだ理由を教えてください。

- ・もともとは鹿児島県内の大学へ進学する予定だったのですが、父親からの勧めもあり、現在の北海道情報大学への進学を決めました。「北海道」と名前にあります。普段は鹿児島市内にある「KCS 鹿児島情報専門学校」に通いながら、通信制で大学の課程を履修しています。
- ・小学生の頃から「先生になりたい」という夢がずっと心の中にありました。高校3年生になり、改めて自分の将来と向き合ったとき、「やっぱり大学に入学して教員免許を取りたい！」と強く思うようになったからです。大学に行くにはお金も時間もかかります。だからこそ、「本当に自分は大学に行きたいのか？」「何のために進学するのか？」を何度も自分自身に問いかけました。それでも「やりたい！」と思えたので、覚悟を決めて進学を選択しました。

### Q3：進路活動や大学生活で大変だったこと、それをどう乗り越えたかを教えてください。

- ・3年生の今頃に切り替えたこともあり、入試の準備がとにかく一番大変でした。私は人前で話すのが苦手だったため、面接は大苦戦でしたし、小論文（課題レポート）も「経済について自分の考えをまとめる」という今までに取り組んだことがない難しいテーマで、最初は本当に困り果てていました。乗り越えられた理由は、「とにかく先生や友達を頼ること」です。面接はたくさんの先生方に何度も何度もお願いして練習に付き合ってもらいました。レポートで行き詰まったときは、友達に自分の考えを話して、頭の中を整理するのを手伝ってもらいました。一人で抱え込まず、周囲の力を借りることが突破口になります。
- ・私は将来「高校の先生になる」という強い目標を持っています。そのため、普通の学生よりも多くの単位を取得しなければならず、計画的に授業を受けたり、教育実習の準備やスクーリング（面接授業）をこなしたりするのが本当に大変でした。それでも投げ出さずに乗り越えられたのは、「絶対に教師になりたい！」という強い思いが自分の中にあっただからです。皆さんも「自分が将来どうなりたいか」という軸を持つと、大変なことも乗り越えられるはずです。

### Q4：出水商業高校の現役生へメッセージをお願いします。

- ・これから先の進路活動、分からないことや不安なことはいっぱいになると思います。そんな時は、ぜひ学校の「進路資料室」に足を運んでみてください！私はよく大学のパンフレットを読み漁ったり、そこにいる進路の先生とお話をしたりして活用していました。皆さんの将来が素晴らしいものになるよう、心から願っています！
- ・進路のことで迷ったり、不安になったりすることもたくさんあると思います。でも、真剣に悩んで選んだ道であれば、きっと後から「ここを選んで本当に良かった！」と思える素敵な出会いや経験が待っています。皆さんの幸せを心から応援しています！

教育実習に来てくださった2人の先輩の話から、以下の共通点と大切な学びが見えてきます。

#### 1 「目的意識」が最大のエネルギーになる

どちらの先輩も、「先生になりたい」という強い目的意識があったからこそ、膨大な単位履修や、ゼロからの入試対策という高い壁を乗り越えられました。タイパ（効率）だけでは測れない「ひたむきな努力」の原動力は、この強い想いです。

#### 2 学校の先生や友達、施設をフルに頼ろう

進路実現は1人で行うものではありません。面接練習を先生に頼み込み、友達に相談し、進路資料室を活用する——そうやって学校の環境をとことん使い倒した人が、最後に笑顔を迎えています。

先輩たちのように「人生史上最高の努力」ができるよう、まずは進路指導室に足を運ぶ、身近な先生に相談するといったすぐのできそうなことから始めてみませんか？